

令和7年度

令和7年11月4日(火)発行



長岡第四中学校 学校だより

NO. 7

TEL (075)951-2112 FAX (075)951-8430
ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka4-jhs/cms/> ⇒
E-mail nagaoka4-jhs@kyoto-be.ne.jp



秋深き 隣は…

校長 高橋 泰三



保護者の皆さま、地域の皆さま、日ごろは本校の教育活動についてご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。10月30日、31日に行いました文化祭では、1年生は合唱、2、3年生は劇を発表しました。図らずもインフルエンザ等で体調を崩してしまう生徒が多く、日程を一部変更し、2年生の半分は明日に本番を持ち越すことになりました。そういうわけで、すべての学級の発表が終わったわけではありませんが、取組の過程を振り返ると、どの学級も目標を決めて、毎日計画的に取り組んでいました。合唱も初めのころはなかなか声が出にくく歌声も揃わず、また歌詞も覚えられずに苦勞していたようですが、取組2週目以降はどの学級も順調に「合唱」を味わえるような取組になっていたと思います。また、劇に取り組んだ2、3年生も、巨大背景画やさまざまな大道具、小道具づくりに、またセリフを覚えることに苦勞していたよう

ですが、ステージ練習の回を重ねる毎に「形になっていく」様子がうかがえ、決して長くはない取組期間の中でよく本番を迎えることができたと感じています。学年によっては「審査」の結果も出るわけですが、「～賞」よりも「学級で取り組んだ3週間」がどの学級にとっても一番の成果として、これからの学級づくりの中で実感できるように願っています。

生徒の皆さん、体育大会から文化祭の取組が終わりほっとしていると思います。明日、本番を控えている学級はもうひと踏ん張りです。頑張ってください。9月下旬から始まった一連の取組の中で、学年や学級の仲間の色々な姿が見えたのではないのでしょうか。今まで知らなかった姿、気づかなかった姿です。同じように自分も、今までと違う姿を現せたと思います。「行事のいいところ」は、そんな取組を通して、周囲の人や自分の「未知の姿」を思い切り感じることができるところ、表現できる時間を共有することができるのだと思います。すっかり「四中の歌」として定着してきた「変わらないもの」の歌詞の中に、「君がいたから 頑張れた 支えあうこと 分かち合うこと あふれるほどの 愛をくれた あなたにありがとう」があります。四中で過ごす三年間で、こんな仲間に出会えて、そんな風に思うことができたなら素晴らしいことだと常々思っていますが、今は出会えなくてもいつかきっと、そんな人に出会えるように、出会ったときにそう思えるように、自分が成長して、心を磨いていくことも大切なことです。実は「あの人(人たち)がそうだったのに…」自分が気づかずに(そう思えずに)、時間が通り過ぎてしまうのは残念です。なので、今一度今年の取組を振り返ってみてください。「あの時、～さんはこんな風にみんなを支えてくれた」「～さんのその言葉でみんながやる気になれた」「～さんのあの姿をみて勇気が出た」など、きっとたくさんあるはずです。って思えたら、きっとあなたも去年よりもっと成長していると思いますよ。

タイトルは言うまでもなく、江戸時代の俳人 松尾芭蕉の有名な一句「秋深き 隣は何をするひとぞ」からとったものです。本来の意味について私はとても説明できませんが、病気でふせているときに詠んだこの歌からは、喪失感や孤独感、どこかもの悲しい感じがします。「自分はこんな状況だけど、周りの人は一体なにをしているのだろうか」「きっと楽しく過ごしている人々にとって自分は忘れ去られてしまっているのではないだろうか」など、身体の不調と共に心も弱まっていたのだろうか、というのは考えすぎでしょうか。「周りの人と比べて自分は劣っているかもしれない」「自分なんて大したことはない」と自分で自分を見下してしまうことは、思春期にはよく見られる心理状態のようです。思春期は、心と身体が大きく変化する時期であり、「他人と比較して卑下する」傾向が強くなることがあるとされています。これは、一つには「自己認識の発達」から、自分を客観的に見ようとする力が育つ一方で、他人の目を過剰に気にすることから起こるとされています。また、「アイデンティティの模索」から、「自分っていったい何者?」という大きな疑問にぶつかって、他人と比較することで自分の立ち位置を確認しようとするところから起こるとされています。さらに、「仲間関係の重視」「感情の不安定さ」から、ということもあるようです。違う言葉でいうと「劣等感」なのでしょう。アドラー心理学では、劣等感は誰もが持つ自然な感情であり、健全な劣等感は成長の原動力になるということですが、これがいき過ぎると「自己否定」につながるとも言われています。どうしたらいいのでしょうか。簡単に答えが見つかるといいのですが。そこで、私はこう思うのです。「肩の力を抜いて、仲間のいいところを素直に認めて、『すごいね』とか『助かったよ』とか『ありがとう』と言える自分ってスゴイ!」と勝手に思うこと、です(へへ)。できれば自分の「得意」を作ること、です。これからもますます「自分を大切に」、しましうね。



第41回体育大会

○総合優勝 青組・緑組 ○大縄優勝 1年2組 2年1組 3年4組

天気にも恵まれ、第41回体育大会が開催されました。各色・各組のリーダーを中心に、これまでの取組の成果が発揮されました。一生懸命な笑顔が多く見られた体育大会となりました。



11月の予定

	曜	行 事 等	部活	給食
1	土			
2	日			
3	月	文化の日		
4	火			○
5	水	2年1・2組劇発表 教育相談① 3年進路学習(公) 尿検査(2次)	×	○
6	木	教育相談② 尿検査(2次)		○
7	金	教育相談③ 3年進路学習(私) 漢検		○
8	土			
9	日			
10	月	教育相談④		○
11	火	教育相談⑤		○
12	水	実行委員会 3年実力テA 尿検査(2次)	×	○
13	木	授業参観	×	○
14	金	3年実力テB	×	○
15	土			
16	日			
17	月		×	○
18	火		×	○
19	水		×	○
20	木	期末テスト①	×	
21	金	期末テスト②	×	
22	土			
23	日			
24	月			
25	火	期末テスト③	×	
26	水			○
27	木	3年進路学習【面接】		○
28	金			○
29	土			
30	日			

乙訓1年生大会の結果

男子ソフトテニス部 3位
1年生ペア

第47回「少年の主張 京都府大会」

佳作 3年生 4名が選出されました

第41回文化祭の様子



12月の予定

3日(水) 実行委員会
5日(金) 生徒会本部役員選挙
12日(金)～19日(金) 三者懇談(全学年)
24日(水) 終業式
28日(日)～1月4日(日) 学校業務休止日